

おもしろ宇宙ニュース

小惑星探査機 はやぶさ

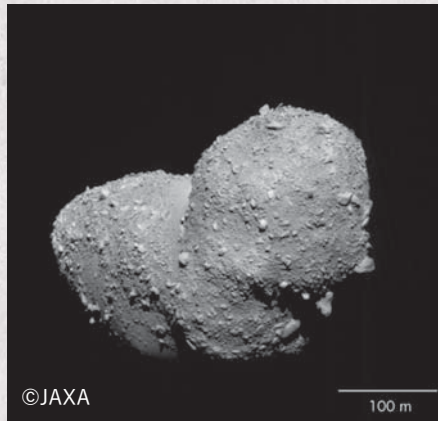
毎年6月13日は「はやぶさの日」です。

そこで今回は「小惑星探査機 はやぶさ」について紹介します。

「はやぶさ」は将来の本格的なサンプルリターン探査に必須となる技術を実証することを目的とした、工学技術実証のための探査機です。



↑ はやぶさの帰還イベントに展示されていた模型

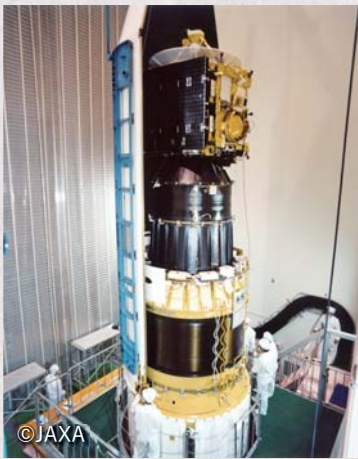


↑ 小惑星イトカワの画像

2003年5月9日、内之浦宇宙空間観測所から「はやぶさ」を載せたM・Vロケット5号機が打ち上げられました。

約7年の旅を経て、2010年6月13日、小惑星「イトカワ」の表面物質搭載カプセルを地球に持ち帰ることに成功しました。

「はやぶさ」が「イトカワ」の表面物質を持ち帰った探査機であることは広く知られていますが、ほかに様々な実証実験を兼ねていました。



← M・Vロケット5号機とはやぶさ

イオンエンジンという新しい推進機関を使つての飛行、自立誘導航法、微小重力下でのサンプル採取、イオンエンジンでの地球スイングバイ(※)、カプセルによる大気圏再突入。

この実証実験は後の惑星探査機の技術に活かされることとなります。

※スイングバイ：少ない燃料しか詰まらない惑星探査機が遠くまで行くときに、惑星の重力を使つて加速する方法。

「はやぶさ」の帰還は多くの人に感動を与え、書籍や映画も作られました。



↑ はやぶさの帰還イベントの際、特別展示されていたカプセル

地球重力圏外の惑星からサンプルを持ち帰るのは世界初であったはやぶさの功績を讃え、毎年6月13日は「はやぶさの日」に認定されました。

そんなはやぶさの経験を受け継いだ後継機「はやぶさ2」が2014年12月3日に打ち上げられ、今年末に地球に帰還する予定となっております。今回もまた私たちに感動を与えてくれると期待が膨らみます。